

LOVAL®FLANOA 施工説明書

- ・ 本説明書の推奨施工方法をよく読んでから、施工してください。
ただし施工後の仕上りを保証するものではありません。
使用にあたっては製品内容や施工環境を検討して頂き、問題のないことを確認の上、
使用してください。
- ・ 下地の種類、プライマーの種類に制限があります。
- ・ 化粧済の面に対する上貼りが可能です

【重要事項】

○不燃認定について

LOVAL®FLANOA は、建築基準法第 2 条の 9 及び同法施行令第 108 条の 2 の規定に適合する不燃材料として国土交通大臣の認定を受けております。

＊下地基材は対象建築物の耐火、強度を満たしている必要があります。

不燃材料

不燃認定番号	仕上げ
NM-6 1 1 3	FLANOA

○安全について

プライマーや錆止め塗料には揮発性の有機溶剤が含まれています。火気には十分ご注意ください。
吸入すると健康を害する恐れがあるため、換気が十分行われる環境で作業を行い、必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用してください。

○施工推奨温度について

施工に最適な温度は 15～35℃です。15℃未満の低温時は接着不良の原因となるため、ヒーター等で室温を上げる、シートと基材をドライヤー等で温めるなどの対策を実施し施工をして下さい。
低温時はフィルムが裂けやすくなる為、ご注意ください。
また、施工後の急激な温度変化は膨れ等が発生する原因となる為、避けてください。

○作業時の注意点について

LOVAL®FLANOA はシート基材に不燃紙を使用しています。そのため、粘着剤が壁面に付着した状態で剥がすと紙の間で破壊が発生しやすくなっているため貼り直しができません。剥離紙を必要以上に剥がさず、貼り位置を事前によく確認したうえで貼り始めてください。

万が一シートが壁面についてしまった時や仮固定の場合（圧着していない状態）はゆっくりと慎重に剥がしてください。

シートを引っ張って無理やり剥がす方法は紙間凝集破壊をおこし、粘着剤が壁面に残る原因となります。

シートが厚くコシがあり、収まりが悪い為エア抜きは中央から外側に、上から下にと方向を1方向に定めて実施してください。

剥離紙を剥がす際もゆっくりと剥がす様にしてください。無理に剥がすと不燃紙層で破れ粘着剤がとれてしまう可能性があります。（※破れた場合、7P 記載の補修方法を参照ください）

外観不良の原因となるので、埃や異物を巻き込む恐れのない環境での作業をお願いします。

異物や気泡を見逃さないよう、十分な明るさを確保してください。

○LOVAL®FLANOA の保管環境について

直射日光及び水濡れは厳禁です。納入後は 35℃以下の常温環境に保管の上、速やかに使用してください。平滑な床面に箱詰め宙吊り状態で保管してください。縦置き、縦積みはしないでください。

○施工可能な下地について

LOVAL®FLANOA対応下地
当社指定のタックシート (各社施工説明書記載の上貼可能な品番に限る)
塗装鋼板(*)

* 塗装鋼板については再塗装が可能なものに限りです。

フッ素処理等難接着処理されている物には施工できません。

○プライマーについて

プライマーは下表に記載した製品のメーカー説明書記載の塗布量を守って均一に塗布してください。指定塗布量を守らない場合や塗り残しがある場合、密着不良の可能性があるため注意してください。

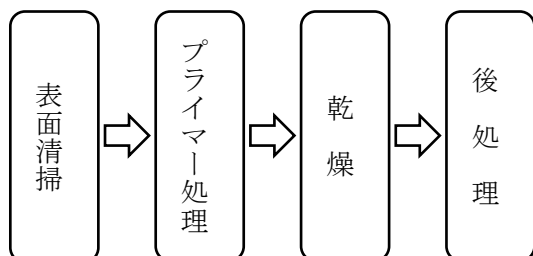
品名	RQ-900P	EC-1368NT	DP-900N3	プライマーZ
種類	溶剤	溶剤	溶剤	溶剤
	合成ゴム系	合成ゴム系	合成樹脂系	合成ゴム系
希釈率	原液	溶剤で2～3倍	原液	原液
鋼板に対する適正	○	○	○	○
せっこうボード貼 塩ビシート(*2) に対する適正	○	○	○	○

*2 塩ビシートにつきましてはお問合せ下さい

【施工手順】

1. 下地の処理

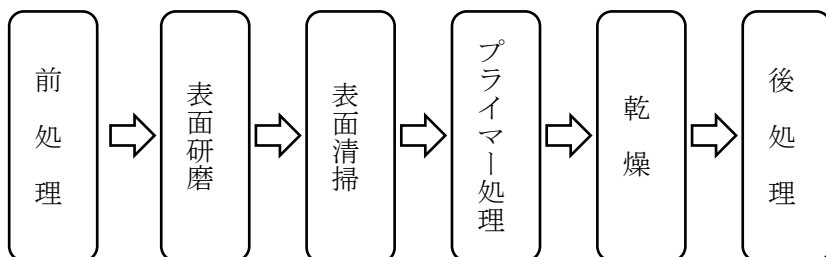
塩ビタックシート上貼り



工程	詳細
表面清掃	エアガン等により異物やほこりなどを除去してください。
プライマー処理	弊社指定のプライマーを使用してください。 ※3 ・ローラー刷毛(毛丈サイズ中毛(13mm前後)以下)を使用して1方向に均一に塗ってください。<u>ゴム系プライマーは粘度が高いため、塗布ムラが発生しやすいです。十分ご注意ください。(プライマー塗布ムラによる表面凹凸が発生した場合は、後処理のサンディングで表面を均してください。)</u> ・塗布回数は、貼り付け部位、状態を確認しながら<u>原液を塗ってください。</u> 粘度が高く塗布しにくい場合は、メーカー指定の希釈剤で希釈(原液3に対し希釈剤1の割合で希釈)をしたものを使用してください。 <u>プライマーの層が表面に形成されている事が条件です。</u> <u>(ゴム系プライマーは黄色ですので、色を目安に層の形成を確認ください)</u> <u>油性用目地刷毛を使用し、塗り残しのないように塗布してください。</u> <u>塗布量の指定はありませんが、プライマーの薄い層が形成されている事が条件です。</u> <u>(ゴム系プライマーは黄色ですので、色を目安に層の形成を確認ください)</u> <u>裏面側はシートが巻き込まれる部分より少し広めに塗布してください。</u>
乾燥	十分な乾燥時間をとってください。 <u>夏場の温度環境で、30分～1時間程度が乾燥の目安です。プライマー表面を指触でチェックし、べたつきが無くなっているか確認してください。</u>
後処理	<u>異物等の除去、接着性向上のため、#180程度のサンドペーパーを軽くかけてください。</u>

※3.プライマーの使用方法、取扱い、保管については、メーカーの説明書も併せて読んでください。

鋼板



工程	詳細
前処理	サビ、異物の除去を行ってください。 基材の凹み、継ぎ目部分は必要に応じパテ処理を行い、平滑に仕上げてください。
表面研磨	<u>#180 程度のサンドペーパーで全面研磨してください。</u> <u>研磨しすぎると接着性能が低下する場合があります。研磨は必要最小限に留めてください。</u>
表面清掃	アルコール等により異物やほこり、油分などを除去してください。
プライマー処理	弊社指定のプライマーを使用してください。 ※4 ・ローラー刷毛(毛丈サイズ中毛(13mm前後)以下) を使用して 1 方向に均一に塗ってください。<u>ゴム系プライマーは粘度が高いため、塗布ムラが発生しやすいです。十分ご注意ください。(プライマー塗布ムラによる表面凹凸が発生した場合は、後処理のサンディングで表面を均してください。)</u> ・塗布回数は、貼り付け部位、状態を確認しながら<u>原液を塗ってください。</u> <u>粘度が高く塗布しにくい場合は、メーカー指定の希釈剤で希釈（原液 3 に対し希釈剤 1 の割合で希釈）をしたものを使用してください。</u> <u>プライマーの層が表面に形成されている事が条件です。(ゴム系プライマーは黄色ですので、色を目安に層の形成を確認ください)</u> ・シートの巻き込み加工を行う際は、木口部・裏面側にもプライマー塗布が必要です。<u>油性用目地刷毛を使用し、塗り残しのないように塗布してください。</u> <u>塗布量の指定はありませんが、プライマーの薄い層が形成されている事が条件です。(ゴム系プライマーは黄色ですので、色を目安に層の形成を確認ください)</u> <u>裏面側はシートが巻き込まれる部分より少し広めに塗布してください。</u>
乾燥	十分な乾燥時間をとってください。 <u>夏場の温度環境で、30 分～1 時間程度が乾燥の目安です。プライマー表面を指触でチェックし、べたつきが無くなっていたら乾燥しています。</u>
後処理	<u>異物等の除去、接着性向上のため、#180 程度のサンドペーパーを軽くかけてください。</u>

※4.プライマーの使用方法、取扱い、保管については、メーカーの説明書も併せて読んでください。

2. 基本的な貼り付け方【施工手順（塩ビタックシート、化粧鋼板上貼り）】

1. 施工前の確認と準備

・ 施工環境：

- ・ 施工に最適な温度は 15～35℃です。15℃未満の低温時は接着不良の原因となるため、ヒーター等で環境を改善してください。
- ・ ホコリやチリは仕上がりに大きく影響します。施工面だけでなく、周辺も十分に清掃してください。
- ・ 異物や気泡を見逃さないよう、十分な明るさを確保してください。
- ・ 下地は十分に乾燥させてください。湿気があると施工できません。

・ 材料の確認：

- ・ 施工前に品番、ロット、数量、輸送時の破損や傷がないかを確認してください。
- ・ 同一面に異なるロットの製品を使用するのは避けてください。ロットが異なると色合いに差が生じる場合があります。

タックシートの絵柄には方向性があります。裏面の剥離紙のロゴを同じ方向に合わせて施工してください。

2. フィルムの裁断と貼り付け

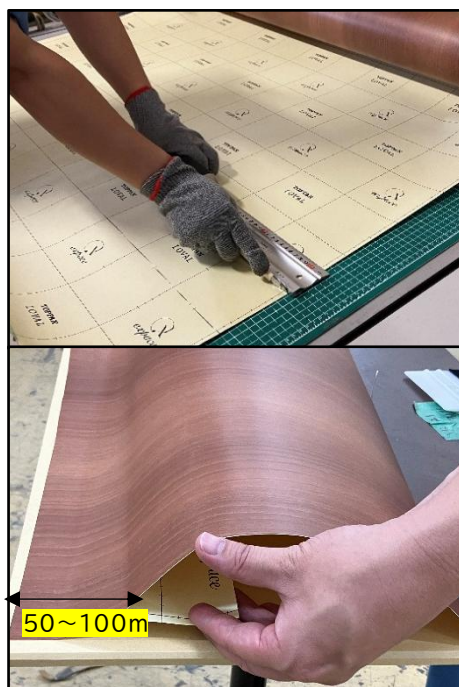
手順：

① 採寸と裁断

- ・ 貼り付け部分を正確に採寸し、上下左右それぞれ 50～100mm 程度大きめにフィルムを裁断します。

② 貼り付け位置の確認と仮留め

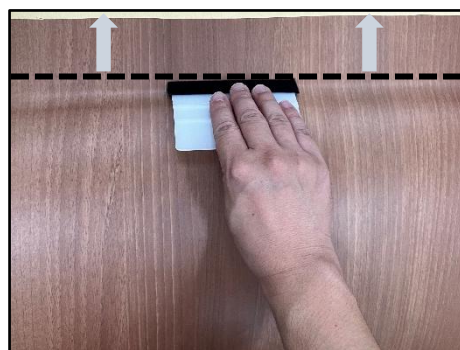
- ・ フィルムを貼り付け面に当て、全体の位置を決めます。
- ・ フィルムの端から 50～100mm ほど剥離紙を剥がします



- ・ 露出した接着面を貼り、幅の中央部辺りでシートを指で軽く圧着して仮留めします。



- ・ 全体に歪みがないことを確認し、露出した接着面下から上に向けて圧着します。
上から下に圧着すると、気泡やシワが出やすくなる為、注意してください。



③ 全面の貼り付け

- ・ スキージー（ヘラ）をフィルム面に対して 45° 程度に傾け、フィルムを下方向に軽く引っ張り、上から下、中央から左右へスキージーを動かし、空気を抜きながら圧着します。
- ・ 一度圧着した部分に半分ほど重ねるようにスキージーをずらしながら作業を進めます。
- ・ 剥離紙は 200～300mm ずつ少しずつ剥がしながら貼り進めてください。



④ 再圧着と気泡の処理

- ・ 全面を貼り終えたら、貼り残しがないか確認し、全体をもう一度強く圧着します。特に端部は丁寧に行ってください。
- ・ 小さな気泡が残った場合は、針やカッターの先端で気泡の中央に小さな穴を開け、指やスキージーで空気を押し出します。



⑤ 仕上げ

- ・ 余分なフィルムをカッターで切り取り、端部を再度圧着してください。

⑥ 部分的な補修

- ・ 剥離紙を剥がす際に LOVAL®FLANOA の紙層間が剥がれた場合は、市販の木工用ボンド（エチル酢酸ビニル系接着剤又はシアノアクリレート型瞬間接着剤推奨）を使用して剥がれた部分に塗布して補修しご使用ください。
- ・ 施工中に LOVAL®FLANOA の粘着層が部分的に取れてしまった場合は市販の木工用ボンド（エチル酢酸ビニル系接着剤又はシアノアクリレート型瞬間接着剤推奨）を使用して LOVAL®FLANOA と壁面に残った粘着層を接着するように塗布して仕上げてください。補修面積は一か所あたり 直径 3 c m の大きさまでとしてください。

⑦



3. 出隅・入隅の施工方法

【出隅の施工】

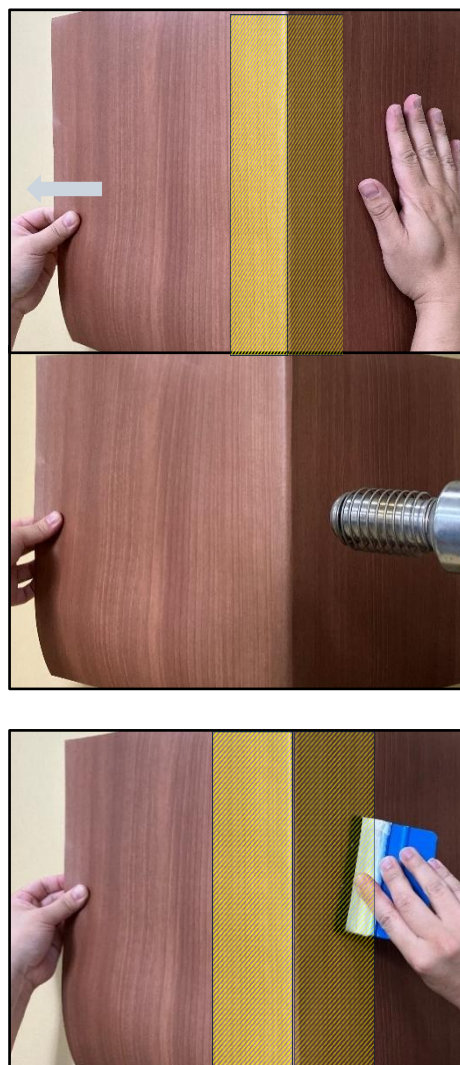
① 下地処理

- ・ 出隅部の直角と直線が正確に出ていないとシワの原因になるため、コーナー材等で下地を整えます。
- ・ 接着力を高めるため、出隅の頂点から左右にそれぞれ 50～100mm 程度の範囲にプライマーを再度塗布します。
(右図黄色枠)

② 貼り付け

- ・ 面積の広い面から貼り付けを開始します。
- ・ 出隅部に気泡やたるみが残らないよう、フィルムを軽く引っ張りながら圧着します。
- ・ 気温が低い場合（15℃以下）は、ドライヤー等で均一に加熱しながら貼り付けてください。部分的に加熱しすぎるとフィルムが伸びてシワになりやすいため注意が必要です。
- ・ 出隅の頂点から左右 100mm の部分（右図黄色枠）は特にしっかり圧着してください。
- ・ 最後に貼り付け面全体を再度圧着してください。

LOVAL®FLANOA はシートのコシが強いため、貼り付け代は最低 10 mmを確保してください。端部はしっかりと圧着をしてください。



【入隅の施工】

① 下地処理

- ・ 出隅と同様に、入隅部から左右にそれぞれ 50～100mm 程度の範囲にプライマーを再度塗布します。

② 貼り付け

- ・ 面積の広い面から貼り付けを開始します。
- ・ 入隅部に気泡やたるみが残らないよう、スキージーで押し込むように圧着します。不用意に押し込むとフィルムが破れることがあるため注意してください。
- ・ 必要に応じてファイバーシート等の接着防止テープを対向する面に貼っておくと余分なシートを剥がしやすくなります。



- ・ 入隅部に、板（ヘラ）を当て余分なシートを切ります。



- ・ もう一方の面も同様に実施します。
- ・ 上記同様対向面に先ほど使用したファイバーシートを貼りなおすと余分なシートを剥がしやすくなります
- ・ 最後に貼り付け面全体を再度圧着してください。



4. ジョイントの方法

ジョイントは重ね貼り、突合せでの実施をお願いします。

突きつけでの重ね切りによるジョイントは推奨いたしません

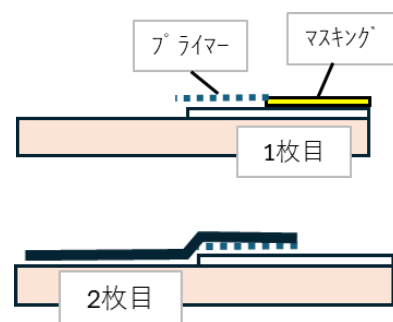
重ね貼りの場合

① 準備

- ・重ね貼りするシートをそれぞれ準備します。
- ・重ね貼り代に塗るプライマーとマスキングテープを準備してください

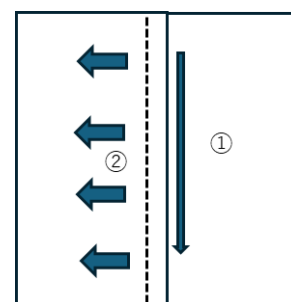
② 貼り付け

- ・1枚目のシートを貼り合わせた後、重ね貼りする部分の横にマスキングを行い、重ね貼り代にプライマーを塗布してください

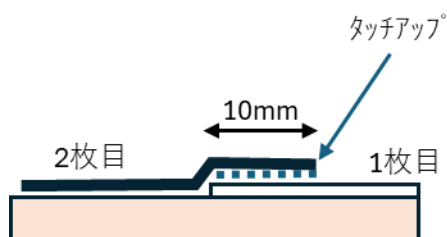


- ・プライマーが乾燥してから、二枚目のシートを重ね位置を合わせ、貼り合わせていきます。
貼り合わせは重ね部分を優先しますので、

- ① 剥離紙の重ね部の上下を剥がして貼り、重ね部分がある程度貼って位置が決まりましたら
- ② 横方向に剥離紙を剥がしながらスキージでエア抜きをしながらシートを貼り進めてください



- ③ シートの断面が目立つ場合はウッドタッチアップペンでシート断面を塗ってください。シートの柄ごとに推奨の品番を設定しております。
はみ出した塗料は速やかにふき取ってください



柄名	対応表装品番	ウッドタッチアップペン 推奨品番	柄名	対応表装品番	ウッドタッチアップペン 推奨品番
モードメタルLF BL	TLF-KV7104	32904	モードメタルLF LG	TLF-KV7102	822162
モカクリームLF BG	TLF-KV018	204508	モードメタルLF B	TLF-KV7103	203808
ブリートオークLF N	TLF-KV2073	205308	ムーンヤードLF BG	TLF-KV016	6001 ライトグレー
バーグウォールナットLF B	TLF-KV004	303(薄色部) 49701(濃色部)	オペラウォールナットLF LG	TLF-KV005	205308
スクリラアッシュLF G	TLF-KV2066	204108	エアリーチェスナットLF GW	TLF-KV2013	204508

突合せの場合

① 準備

突き合わせるシート端面は直線が出ている事を確認してください。

カッター等でカットした端面は直線が出ない可能性があります。

1枚目のシートを貼る為の墨出しを行います（基準線を鉛筆などで引きます。）

② 1枚目の貼り合わせ

基準線に沿って1枚目のシートを貼りつけます。突合せする側はスキージーでしっかりと押し付けて貼り付けてください

③ 2枚目の貼り合わせ

2枚目の突合せする側の剥離紙を3cmほど剥がし、1枚目のシートに位置合わせをして少しづつ貼り合わせていきます。

1枚目の端に2枚目の端を「押し当てる」ようにして、隙間がないことを確認しながら少しずつ剥離紙を剥がしていきます

貼り進める際、スキージーで圧着する前に、**指の腹を使って2枚目のシートを1枚目の方へ押し付けながら固定**します。

シートにはわずかな伸縮性があるため、少し押し込むように貼ることで、後からシートが収縮して隙間が開くのを防げます。

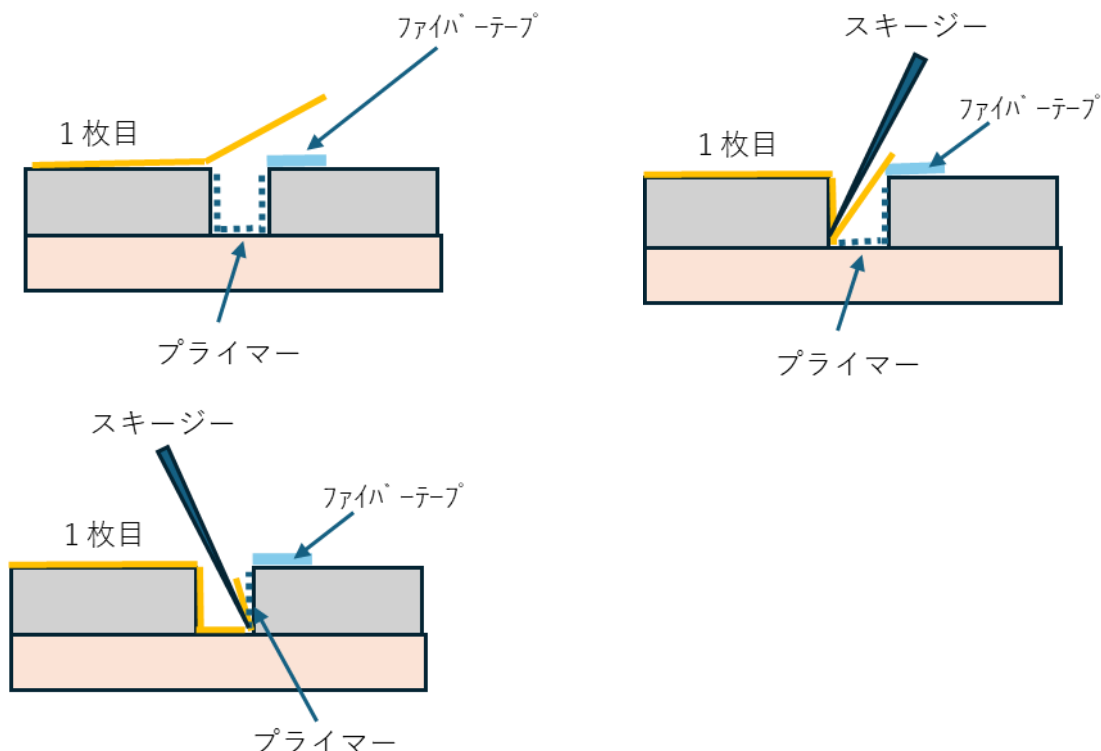
5. 目地への施工

①準備

- ・ 目地貼りを行う寸法に合わせてシートの幅をカットしてください。
概ね両側 10mm 程度の余尺をつけてカットしてください
- ・ シート貼りを行う箇所はプライマーを塗布して密着を確保してください
- ・ 貼り合わせる目地の対向する壁際にファイバーテープ等の剥離しやすいテープで養生すると作業がしやすくなります

②貼り付け

- ・ 1 枚目のシートの位置決めをしっかり行い、剥離紙を剥がした部分を手で圧着します
- ・ エアを抜きながらシートを貼っていきます。目地をオーバーラップした部分は強く押さえないように注意してください、剥がす際に粘着層が取れる場合があります。
- ・ 対向する面のファイバーテープ上のシートを慎重に上から下まで浮き上がらせた後上からスキージーを使い目地に押し込んで底目地角部に圧着してください。
その際、シートを持ちながら粘着面が余計な部分につかないよう注意しながら作業してください
- ・ 続けて反対側の目地に対してシートを圧着して押し込んでください

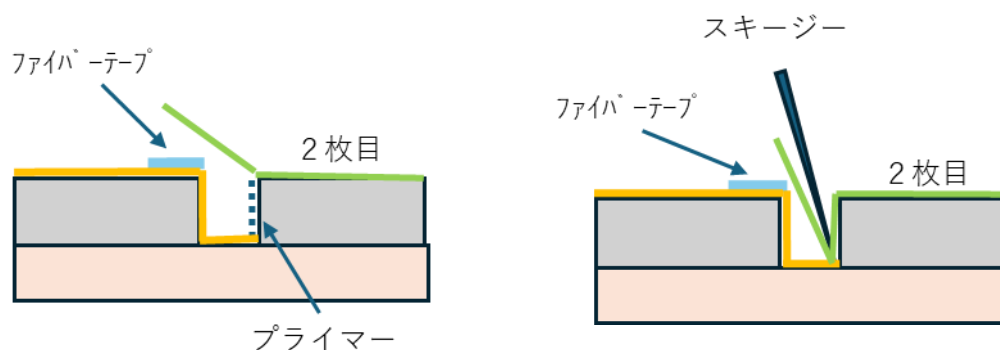


④ カット

- ・ カットガイドを当てながら対向側の目地の角に刃を当て、上から下まで切り落としてください

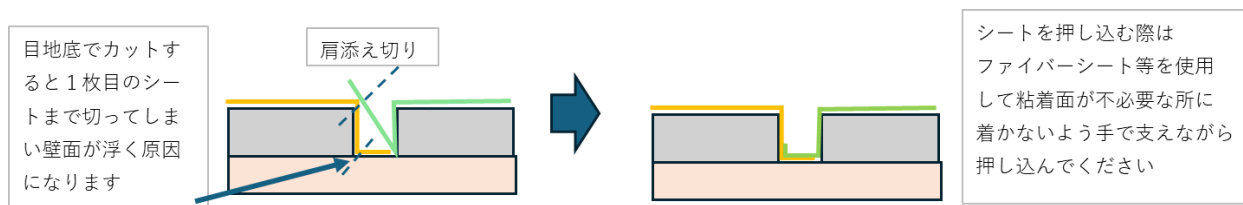
⑤ 対向側の貼り付け

- ・ファイバーテープを剥がし、シートを貼った方の目地肩に貼り直してください
- ・対向側にシートを貼りつけ、スキージーで上から下までエアーを抜きながら貼り付けて下さい、この際、ファイバーテープ上は強く圧着しないようにしてください
- ・ファイバーテープ上のシートを慎重に上から下まで浮き上がらせた後上からスキージーを使い目地に押し込んで底目地角部に圧着してください。



⑥ カット

- ・二枚目のシートはカッターの刃を肩に添えながら空中切りを行います。
(目地角で切ると、1枚目のシートを切ってしまう、浮く可能性があります)
- ・カットした後、シートを反対側の目地底にへらで押し込み圧着してください



⑧ タッチアップ

- ・二枚目のシート断面が目立つ場合は推奨色のウッドタッチアップペンで断面を塗装してください

6. 目地材を使った目地への施工

① 準備

- ・目地の幅をあらかじめ測定し、1.5mm 狭い幅の目地材を準備してください
化粧は同柄の LOVAL シートをご利用ください
- ・シートを目地貼りをを行う場所の大きさに合わせ、両側 10mm ずつ大きめにカットしてください
- ・貼りつける反対側の肩部分にファイバーシートを貼って養生してください

② 貼り付け

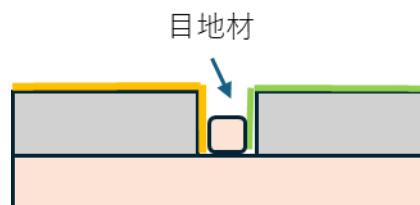
- ・1枚目のシートの位置決めをしっかり行い、剥離紙を剥がした部分を手で圧着します

折りこむシートは目地底にぎりぎり届かない程度にすると、余ったシートを切る作業を省くことができます。

- ・ エアーを抜きながらシートを貼っていきます。目地をオーバーラップした部分は強く押さえないように注意してください。
- ・ 対向する面のファイバーテープ上のシートを慎重に上から下まで浮き上がらせた後上からスキージーを使い目地に押し込んで底目側面に圧着してください。
その際、シートを持ちながら粘着面が余計な部分につかないよう注意しながら作業してください
- ・ 対向側のシートも同様の手順ではりあわせてください

③目地押し込み

- ・ 目地材の接着性を確保するためにプライマーを目地底に塗布してください。
プライマーが乾燥したら目地材に両面テープを貼り、目地底に圧着してください。



7. 施工上の注意点

- ・ 不燃紙層が弱い為、一度強く貼り付けたフィルムを剥がすと、基材の一部（不燃紙）も一緒に剥がれてしまうことがあります。貼り直しは避け、位置決めは慎重に行ってください。
 - ・ 光沢のあるフィルムや金属調のフィルムは、下地の凹凸が目立ちやすいため、使用する場合には、特に平滑な下地作りが重要です。
 - ・ セっこうボードの継ぎ目は目線の高さにならないよう、下部にくるように調整してください。
 - ・ 過度に引き伸ばすと色調や模様にもuraが生じることがあるためご注意ください。
 - ・ **補修・メンテナンスについて**
 - ① 壁紙用糊、パテ、接着剤、塗料など、付着した汚れはすみやかに除去してください。
 - ② 洗浄剤は中性洗剤、無水エタノール等のアルコール類をご使用ください。清掃後の洗浄剤は水できれいに除去してください。
 - ③ 強アルカリ性洗剤、強酸性洗剤、シンナー等、有機溶剤のご使用は避けてください。
 - ④ 清掃の際、研磨材の入ったスポンジ、メラミンスポンジ等は絶対に使用しないでください。
やわらかい布をご使用ください。
- 指定以外のメンテナンスなどによる不具合に関しては保証しかねます
補修に関しては弊社までお問い合わせください。

